

教育委員会点検評価別表・平成22年度事業

今回C・Dと評価した事業について、その理由を説明しました。また、21年度にC・Dと評価したもので、22年度に改善され、A・Bと評価が上がったものについてはCA・CB・DA・DBなどと表記し、その理由を説明しました。

課名 教育総務課

■評価委員の評価 奥村

評価	A	番号	10	事業名	校務員配置事業
説明	各学校に（本務者・臨時職員等）配置がされ研修もされている。休業中には学校間で協力しあい順調に遂行されている。				
その他の意見	少ない予算の中で、児童生徒の健康安全を最優先し遊具の修理、シャワーの設置、スロープなどが迅速に対応している。				

課名 学校教育課

■評価委員の評価 奥村

その他の意見	年々増加している特別に支援を必要とされる児童生徒について、関市独自に手厚い支援がされている。 各学校の実態に合った加配等の配置がされ授業改善、学力向上に力点がおかれている。
--------	---

課名 まなびセンター

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	CB	番号	16	事業名	プラネタリウム一般投影
説明	プラネタリウム投影番組予算の流れは、H19年度10,283,375円、H20年度4,609,500円、H21年度2,493,750円、H22年度3,220,000円である。H22年度は、前年度より予算を増やしていただいたおかげで、より市民のニーズにあう番組を選定することができた。そして投影に関して改善を図った結果、1回あたりの投影観覧者数は、H20年度は14.9人、H21年度が26.9人、H22年度は36.0人と増加している。ただ、入場者数は選定番組（番組予算）と深く関わっており、評価については今後も冷静に見極めていく必要がある。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	B	番号	16	事業名	プラネタリウム一般投影
説明	平成23年度で終了になると聞いてますが、移動式装置等を利用する代替措置をとって、対応されることを期待します。				

■ 評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	16	事業名	プラネタリウム一般投影
説明	自己評価に同じ。				

■ 評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	16	事業名	プラネタリウム一般投影
説明	自己評価に同じ。				

課名 生涯学習課・中央公民館

■ 課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	BD	番号	5	事業名	市内大学等と連携した生涯学習推進事業
説明	大学教授を講師にいくつかの講座を開催しているものの、価値観の多様化や高度化するニーズに対し、一人一人の自発的な活動を支援するため、大学との連携を深め、幅広い分野の講座の開催、地域と大学の交流を深める取組みが必要である。				
評価	BC	番号	14	事業名	生涯学習センター整備・利用促進事業
説明	生涯学習センターは、教育委員会のもとで社会教育の場として教育活動がなされてきたが、現在は、地域住民で構成されるまちづくり委員会が管理し、教育という施設よりも共同体としての施設に特化しており、生涯学習の教育活動の充実が必要である。				
評価	BC	番号	15	事業名	ふれあいセンター促進事業
説明	ふれあいセンターは、公民センターに代わる地域における生涯学習の拠点施設として位置付けているが、地域づくりの拠点施設として色濃く、生涯学習の教育活動が十分になされていない。生涯学習を推進する指導者の養成、活動のボトムアップ化を進めることが必要である。				

■ 評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	D	番号	5	事業名	市内大学等と連携した生涯学習推進事業
説明	大学との連携は積極的に進めてください。大学も地域との連携を望んでいるはずです。				
評価	BA	番号	13	事業名	公民館整備・利用促進事業
説明	この事業の評価はAに該当すると判断しました。				
評価	C	番号	14	事業名	生涯学習センター整備・利用促進事業

説明	生涯学習センター及びふれあいセンターの本来の機能を一層充実させ、地域住民の学習活動を活性化させてください。				
評価	C	番号	15	事業名	ふれあいセンター促進事業
説明	生涯学習センター及びふれあいセンターの本来の機能を一層充実させ、地域住民の学習活動を活性化させてください。				
その他の意見					
生涯学習の対象者は幅広いので、学習の内容も大学レベルの内容まで提供できるようになることを期待します。					

■ 評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	D	番号	5	事業名	市内大学等と連携した生涯学習推進事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	14	事業名	生涯学習センター整備・利用促進事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	15	事業名	ふれあいセンター促進事業
説明	ふれあいセンター事業及びまちづくり推進について、今以上に行政のリーダーシップと細部の充実を望む。				

■ 評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	5	事業名	市内大学等と連携した生涯学習推進事業
説明	対象を特定し、長期的な連携を深めていく必要がある。地域（市）のニーズを大学教授や専門のスペシャリストに問いかけていく姿勢も必要。				
評価	C	番号	14	事業名	生涯学習センター整備・利用促進事業
説明	上から目線での指導でなく、地域の自発的な活動につながるよう助言が必要。 地域アカデミー、文化創造として広く人材の確保と拠点学習（寄り合い）の魅力をアピール				
評価	C	番号	15	事業名	ふれあいセンター促進事業
説明	自己評価に同じ				

課名 図書館 _____

■ 課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	BC	番号	2	事業名	子どもへのサービス充実のための学校図書館との連携強化
説明	一部の学校で実施している大学の講師を学校に派遣して、児童の読書習慣の確立と読書指導を一層充実するとともに、市立図書館から学校図書館へ図書の貸し出しができる体制を整えることが必要である。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	2	事業名	子どもへのサービス充実のための学校図書館との連携強化
説明	市立図書館と学校図書館との連携を密にし、市立図書館から学校図書館への貸し出しができるよう早急に進めてください。				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	B	番号	2	事業名	子どもへのサービス充実のための学校図書館との連携強化
説明	読み聞かせやブックトーク等、学校の求めに対応され、児童の読書に対する意欲向上につながっている。				

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	2	事業名	子どもへのサービス充実のための学校図書館との連携強化
説明	自己評価に同じ。市立図書館、学校図書館、相互交流と外部講師読み聞かせサークルとの連携が必要。				

課名 文化会館

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	CB	番号	6	事業名	市民の劇場事業（地域）
説明	平成23年度から板取と武芸川と一緒に開催する予定ですが、他の地域でも一緒に開催できるように地元と協議しながら進めていきます。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	B	番号	6	事業名	市民の劇場事業（地域）
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	B	番号	6	事業名	市民の劇場事業（地域）
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	B	番号	6	事業名	市民の劇場事業（地域）
説明	今年度、地域市民劇場に出かけたくなる事業があった。市全体で魅力を広報していくことが必要。				

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	BC	番号	1	事業名	郷土民具整備事業
説明	洞戸・板取・武芸川（一部）地区の民具を旧中濃高校に集め、台帳整理をすることができたが、武芸川（一部）・武儀・上之保地区の民具が未整理である。また、重複した民具、不要な民具等が未整理のためその整理及び総点検を行う必要がある。今後、保管場所についても旧中濃高校でよいのかどうかの検討も必要となる。				
評価	C	番号	2	事業名	小瀬鶉飼習俗及び関連技術保護事業
説明	小瀬鶉飼の世界無形文化財登録をめざし、市民の方々の意識向上のため、鶉飼用具などの展示を行った。現在鶉飼の後継者がいないため、後継者育成は喫緊の課題である。				
評価	BD	番号	4	事業名	弥勒寺遺跡公園整備事業
説明	土地開発公社の先行取得した土地代金の支払いを終了させた。ゆくゆくは史跡公園化をめざして整備をする予定であるが、未購入の用地は用地交渉が困難な状態であることや購入の財源についても非常に厳しい状態にある。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	1	事業名	郷土民具整備事業
説明	民具の収集・整理のみでなく、これらの利用方法も計画的に検討していく必要があります。（例：学校での教育教材として活用する等）				
評価	C	番号	2	事業名	小瀬鶉飼習俗及び関連技術保護事業
説明	小瀬鶉飼を世界無形文化財として登録することを目指すのであれば、そのための環境整備を計画的に進める必要があります。				
評価	D	番号	4	事業名	弥勒寺遺跡公園整備事業
説明	この計画が実現可能かどうか検討が必要です。				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	1	事業名	郷土民具整備事業
説明	価値をみきわめた民具、農具について一か所に集中管理し資料館として残し、児童生徒の学習として充実されることを期待する。				
評価	C	番号	2	事業名	小瀬鶉飼習俗及び関連技術保護事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	D	番号	4	事業名	弥勒寺遺跡公園整備事業
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	1	事業名	郷土民具整備事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	2	事業名	小瀬鶉飼習俗及び関連技術保護事業
説明	自己評価に同じ。小瀬鶉飼の魅力や習俗や用具を含めて照会。伝統民具後継者育成が急務。				
評価	D	番号	4	事業名	弥勒寺遺跡公園整備事業
説明	自己評価に同じ。				

課名 スポーツ振興課

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	A B	番号	2	事業名	スポーツ審議会の開催
説明	昨年度と比べ、開催回数（2回）は変わらないが、審議会の内容が報告事項が主となり、審議会の内容としてやや不満があったのでB評価とした。				
評価	A B	番号	7	事業名	学校開放施設の体育館やグラウンドの地域開放
説明	昨年度は耐震工事のため使用が限られたことや、利用団体の微減が見られた また利用団体の申請厳守や納付指導にやや不満があったためB評価とした。				
評価	C B	番号	19	事業名	かみのほ元旦ジョギング&ウォーキング大会（補助金）
説明	平成21年度は降雪のため中止したが、今年度は147名の参加で実施しました。				
評価	C	番号	21	事業名	市民ハイキング
説明	平成22年も中止となった。当日は天気は回復したが、前日までの雨で山道の歩きは危険であると判断した。 平成23年は事業を行わない。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	2	事業名	スポーツ審議会の開催
説明	自己評価に同じ。				
評価	B	番号	7	事業名	学校開放施設の体育館やグラウンドの地域開放
説明	自己評価に同じ。				

評価	A	番号	19	事業名	かみのほ元旦ジョギング&ウオーキング大会（補助金）
説明	実施結果から鑑みてA評価としました。				
評価	A	番号	20	事業名	市民（つぼがわ）スポレク祭事業（補助金）
説明	実施結果から鑑みてA評価としました。				
評価	C	番号	21	事業名	市民ハイキング
説明	自己評価に同じ。				

■ 評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	2	事業名	スポーツ審議会の開催
説明	自己評価に同じ。				
評価	B	番号	7	事業名	学校開放施設の体育館やグラウンドの地域開放
説明	自己評価に同じ。				
評価	B	番号	19	事業名	かみのほ元旦ジョギング&ウオーキング大会（補助金）
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	21	事業名	市民ハイキング
説明	自己評価に同じ。				

■ 評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	2	事業名	スポーツ審議会の開催
説明	自己評価に同じ。				
評価	B	番号	7	事業名	学校開放施設の体育館やグラウンドの地域開放
説明	自己評価に同じ。				
評価	B	番号	19	事業名	かみのほ元旦ジョギング&ウオーキング大会（補助金）
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	21	事業名	市民ハイキング
説明	過年度参加実績等の資料整理と検証の上で事業遂行の判断が必要。				

課名 スポーツ振興課（中池公園事務所）

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	1	事業名	勤労青少年ホーム管理事業
説明	「中池公園第7期拡充整備マスタープラン」に伴い、都市整備課より、平成23年度中に取り壊して欲しいと要望されている。				
評価	C	番号	4	事業名	地区体育館管理事業
説明	施設の老朽化及び利用者の減少により、洞戸体育館、板取中切体育館及び板取保木口体育館の取壊し計画があり、地元と協議の上、予算が確保されれば取壊しを行う予定。				
評価	C	番号	7	事業名	高賀山自然の家管理事業
説明	地元からの要望で、平成22年度から、指定管理料を無料で、指定管理をお願いし、一年ごとに契約更新を行うが、建物の老朽化に伴い、市としては、平成25年には閉鎖の予定。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	1	事業名	勤労青少年ホーム管理事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	4	事業名	地区体育館管理事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	7	事業名	高賀山自然の家管理事業
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	1	事業名	勤労青少年ホーム管理事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	4	事業名	地区体育館管理事業
説明	自己評価に同じ。				
評価	C	番号	7	事業名	高賀山自然の家管理事業
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	1	事業名	勤労青少年ホーム管理事業
説明	自己評価に同じ。中池マスタープランでの内容、代替え等を含めてのビジョンの具現化、市民公表が必要となってくる。				
評価	C	番号	4	事業名	地区体育館管理事業
説明	取壊し後の跡地利用等で地元と地区再生の協議が必要。				
評価	C	番号	7	事業名	高賀山自然の家管理事業
説明	自己評価に同じ。高賀山を含めて地域活性のための協議が必要。				

課名 関市学校給食センター

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	8	事業名	施設設備整備事業
説明	関・洞戸学校給食センターにおいては、老朽化に伴い、頻繁に建物・施設の修繕を要するが、予算及び工事期間等の制限もあり、充分に対応できていない箇所がある。				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	A	番号	1	事業名	地産地消推進事業
説明	努力して実施しているのでA評価としました。				
評価	A	番号	5	事業名	食育推進事業
説明	努力して実施しているのでA評価としました。				
評価	C	番号	8	事業名	施設設備整備事業
説明	自己評価に同じ。				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	A	番号	1	事業名	地産地消推進事業
説明	季節感と関市ならではの食材を計画的に取り入れた献立の工夫とその説明が児童、生徒、保護者にわかりやすくされている。				
評価	A	番号	5	事業名	食育推進事業
説明	栄養教諭と学校の連携の中で指導計画に位置づいた「食育」の授業の実践が定着してきている。				

評価	C	番号	8	事業名	施設設備整備事業
説明	自己評価に同じ。				

■ 評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	8	事業名	施設設備整備事業
説明	自己評価に同じ。洞戸、板取地域教育事務所で同様の課題を抱えており連携して食の安全職場環境の改善をする必要がある。				

課名 関商工高等学校

■ 課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	DC	番号	12	事業名	施設整備実習棟・体育館等建て替え用地整備事業
説明	<p>部活動施設等（野球場・テニスコート・プール）の用地として平成7年度に取得した山林（14,039㎡）が未開発のままとなっているが、平成21年度から校舎の耐震補強工事や新グラウンド造成事業（野球場・サッカー場・ソフトボール場）が始まるなど、本校を取り巻く状況が変化していることから、新たな土地利用計画（体育館・実習棟の建て替えなど）を策定する必要に迫られていた。</p> <p>しかしながら、山林の開発は隣接土地所有者の承諾が得られにくい状況にあること、体育館や実習棟については当面、建て替えることなく耐震補強事業で整備を進めることになったため、長期的な展望にたった計画を策定する必要となっている。</p>				

■ 評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	A	番号	6	事業名	教育振興活性化事業
説明	実施内容を鑑みてA評価としました。				
評価	C	番号	12	事業名	施設整備実習棟・体育館等建て替え用地整備事業
説明	自己評価に同じ				

■ 評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	12	事業名	施設整備実習棟・体育館等建て替え用地整備事業
説明	自己評価に同じ				
その他の意見					
<p>市立学校として市民の期待に応えた実績である。（部活動、資格検定等）自信と誇りをもった生徒の姿がみられる。</p>					

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	12	事業名	施設整備実習棟・体育館等建て替え用地整備事業
説明	自己評価に同じ				

課名 板取地域教育事務所

■課の自己評価 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	B	番号	8	事業名	地区体育館管理運営事業
説明	<p>平成21年度から指定管理者制度にて委託管理 白谷・門出・中切・保木口・島口地区体育館があります。 中切体育館については、取り壊しが平成24年度以降にスポーツ振興課で予定しています。 保木口体育館については老朽化が進んでおり、地域としては利用が無く取り壊しの検討がなされている。 各体育館共、冬季の除雪体制が課題であり、白谷・門出体育館については、一般・中学生等の利用があるものの利用頻度が少ない現状。</p>				
評価	AC	番号	9	事業名	文化振興事業
説明	<p>市民の劇場「山本 智子・武井 都加差 歌謡ショー」 開催期日 平成22年10月16日 開催期日 板取生涯学習センター 市民の皆さんに、ひとときの安らぎの時間を提供できたが、入場者数が93名と伸び悩み課題が残る。</p>				
評価	AC	番号	10	事業名	学校給食センター分所事業
説明	<p>調理師（正職員）1名・（臨時職員）2名、栄養士（県職員）1名 板取小学校 184食分/年間 板取中学校 191食分/年間 衛生・環境面には十分注意し問題なく、適正に管理運営ができたが、施設面等において、修繕箇所や不足備品があり、今後改善が必要。</p>				

■評価委員の評価 古田 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されていないもの

評価	C	番号	8	事業名	地区体育館管理運営事業
説明	自己評価に同じ				
評価	C	番号	9	事業名	文化振興事業
説明	自己評価に同じ				
評価	C	番号	10	事業名	学校給食センター分所事業
説明	自己評価に同じ				

■評価委員の評価 奥村 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	8	事業名	地区体育館管理運営事業
説明	自己評価に同じ				
評価	C	番号	9	事業名	文化振興事業
説明	自己評価に同じ				
評価	C	番号	10	事業名	学校給食センター分所事業
説明	自己評価に同じ				

■評価委員の評価 神谷 C 執行見込みであるが課題があるもの D 順調に執行されてないもの

評価	C	番号	8	事業名	地区体育館管理運営事業
説明	自己評価に同じ。取壊し予定建物についても地域活性化跡地利用につながるよう協議が必要。				
評価	C	番号	9	事業名	文化振興事業
説明	自己評価に同じ				
評価	C	番号	10	事業名	学校給食センター分所事業
説明	自己評価に同じ。洞戸事務所も同様の課題を抱えており、本所給食センターとも密接に協議し予算等の対策が必要。				